

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



# 埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Christ's Teachings

2023年  
12月



## 2023-24 年度 クラブテーマ「地域と繋がろう・地域に知らせよう」

### それぞれのクリスマス 2023

オンラインの動画を見るのも辛く、見ないのも辛かった今年のアドベントとクリスマス。ベツレヘム教会の牧師は「今後西欧諸国は一切“人権”を口にしてもらいたくない！」と言い切り、福音の意味を問うた。ウクライナ首都キーウではクリスマスを12月25日に変更し初の超党派礼拝を守った。市民一人ひとりクリスマスの意味を噛みしめたと思う。

それに引き換えこちらは例年と変わらぬ華やかで賑やかな街並みや商店街。でも彼の地との際立った落差故に、かえってクリスマスの意味を改めて考えさせられたと思う。

写真右：「瓦礫の中のキリスト」（福音ルーテルベツレヘム教会） 右下：超党派のクリスマス礼拝（キーウ, BBC） 左下：十勝クラブの山下メンに共感した登山仲間が寒中で発信したメッセージがむしろ心に響いた。（山下メン提供）（浅羽 記）



### 1月「ミラクル」例会

日時：1月20日(土) 14時～16時  
会場：浦和YMCA 北浦和駅西口 歩4分  
プログラム：だからジェンダーを学ぶ

### 1月 夜談会

日時：1月15日(月) 午後6時～8時  
会場：サイゼリア(浦和駅東口)  
・気楽に知り合い見識を広げる大人の会

### 今月の聖句

神は、実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠の命を持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世を救うためである。

ヨハネ伝 3章 15-16節

### ワイズメンズクラブ とは

ワイズメンズクラブ国際協会(Y's Men International)は青少年教育団体YMCAを支援する社会人のボランティア・クラブの国際的運動です。若者の自立的成長と健全なコミュニティ作りを目的に活動しています。どのクラブも政治信条・国籍・性別・肩書きや年齢差にこだわらないつながりを大切にし、それぞれの奉仕活動と国内外の交流を喜びとしています。埼玉クラブは浦和で活動しています。詳しくは埼玉クラブ 浅羽まで。(090-7426-5553)

## ～ エッセイズ ～

### ◆ 第30回アジア太平洋地域大会に参加して

衣笠輝夫



- ・期間：2023年11月3日～5日
- ・開催都市：香港

過去3年間、アジア太平洋地域大会は、新型コロナウイルス感染症蔓延のため開催されていなかったが、香港が全面的に開放され久しぶりの参加となった。

大会は香港中華YMCA九龍センター及び金蓮花・国際宴会場で開催され、宿泊施設は「香港YMCAホテル」と「シティービューホテル」の2箇所。16カ国で構成されるアジア太平洋地域での大会は、多様性の中の一体感と地域内外のYMI会員の親睦活動、文化交流を通して、多様性を実感できた。とりわけ東日本区チームの獅子舞とソングブックからの茉莉花の合唱、西日本区チームの大相撲の取り組み再現は参加者の関心を集めた。(今回東西両日本区からの参加者は国別には最多だった。)

ユース発表の時間にはAYR(地域ユース代表)の風間奈月さん(山梨YMCA)の8月のネパールAYCに関する報告スピーチと長澤実花さん(盛岡YMCA)のスピーチが印象に残っている。風間さんも長澤さんも英語によるスピーチでそれぞれの意思や感情を伝えようとする努力がよく伝わるものだった。又、参加者全員で踊り歌った「YMCA」は迫力があり素晴らしかった。

自由時間には、香港YMCAホテル内のプールで所沢クラブのお二人と一緒に泳ぐことができたのは特別な思い出となるだろう。

大会の動画をYouTubeに掲載しているのでそれも参照されたい。❖

<https://youtu.be/kFWy1T7CZ3A>

<https://youtu.be/PaZk1Awt-D8>

### ◆ キリスト教の明るさが好きだ

伊藤澄夫



日本では秀吉による、文禄・慶長の役で多くの陶芸職人たちが朝鮮半島から連れて来られた中に8才ほどの少女がいて、小西行長庇護のもとで成長したのち、行長は関ヶ原のあと、石田三成とともに処

刑され、家康がこの少女を大奥に入れたが、市井の生活を望み、神津島へ流されたという、おたあジュリアの生涯。26聖

人、家光の治世下起きた島原の乱、東洋の奇跡といわれる、プチ・ジャン神父の報告。そして明治日本を形づくった、新島襄、内村鑑三、木村熊二、新渡戸稲造の生き方にみられる。内村鑑三は、新渡戸稲造と札幌農学校で学び、新島襄と同じアマーフト大学に学ぶ。内村は留学後、無教会によるキリスト教を主唱し、木村熊二はアメリカ留学後、日本における初期のYMCAを支えた。

なぜ、仏教が人びとの新しい運動を指し示す力となりえなかったか。それは、幕府が鎖国を続け、儒教と朱子学を基本として、士農工商による身分制度を維持し、個人の感情を抑圧して外に出さないことを美徳としたからに違いない。

これに比べてキリスト教には「明るさ」がある。私はこの「明るさ」が好きだ。キリスト教には、身分や上下の違いがなく、物の考え方が自由なのである。どのくらいキリスト教について知っているか、というよりも、出会ったときから、かまえていない。普通のことばでいいのだから。

「人はみな罪を背負っている」とは、「みんな、間違いや悩みがあるなかで生きている」ということだろう。これからも、みんなとできるだけ会い、楽しく心豊かな生活を送りたいと思う。❖

### ◆ 2023年のクリスマスに思う

上松寛茂



今年もクリスマスがやってきた。イエス・キリストがお生まれになったのは中東の地イスラエルのベツレヘムである。ベツレヘムはヨルダン川西岸にあり、ガザ地区とともに、戦火の渦中にある。

今年10月7日にパレスチナ難民が居住するガザ地区を実効支配するハマスがイスラエルを奇襲攻撃、イスラエル側住民が1200人死亡、イスラエルの反撃でガザ地区では2万人以上の主に女性や高齢者、子ども、赤ちゃんが次々と死亡するという悲惨な状況に陥っている。ベツレヘムは例年、キリストの生誕を祝う祭の行事が今年中止、観光客もまばらで閑散としているという。これを考えると、キリストの誕生日を日本に居住していても素直に祝えない悲しみが絶えずこみ上げてくる。日本YMCA同盟が12月5日夜に実施した「平和を願うYMCAオンライン祈祷会」～パレスチナのために、世界のために～の参加を逃してしまった。パレスチナで活動する現地スタッフからの報告を聞きたかった。

UNOCHA(国連人道問題調整事務所)によると、12月17日(現地時間16日朝)イスラエル軍によりガザ市アル・レマル地区にあるYMCAビルが砲撃され、多数の死傷者が出たという。YMCAガザは数百人の市民の避難場所となっていたことから世界

YMCA はこれに抗議、「民間人に対するこの恐ろしい攻撃を強く非難し、イスラエル政府に対して、分断を深めるだけであり、このようなトラウマを引き起こすだけの無差別暴力行為をやめるよう求める。暴力は暴力を生む。今すぐ止めて下さい」との声明を発信した。

イスラエルとパレスチナには3つのYMCAがあり、以前から紛争下にあるこの地域の平和を願い活動してきたが、今回の軍事衝突でYMCAの関係者にも犠牲が出ているという。日本の熊本地震の時に熊本YMCAが避難住民の救済活動の中核を担った例がある。YMCAの誇りであり、その使命を担う一員でありたいと願う。❖

## World YMCA News

**\*世界YMCA同盟の会長ソヘイラ・ハイエク氏(レバノン出身)がこの一年を振り返り、来年を展望しました。**

「私の地域が炎上していて、精神的に打ちのめされています。でも平和を実現する団体の会長として、そして神を信じる者として、私は前向きに考えなければならないことを知っています。そしてYMCA



はビジョン 2030 を通して私たちが今目撃していることを誰も目撃する必要のない世界につなげようとしていることを知っています。将来にとっても期待しています。」

ソヘイラ会長は、2024年に向けてYMCA運動の内での協力と革新の広がりにも勇気づけられています。同時に資金面で課題が残っていることも認めています。「私たちはまだ、あるべきところに到達していません」と彼女は述べ、ビジョン2030の成功に向けた資金調達的重要性を強調した。この目的のために彼女はYMCAに連なる専門的ボランティアのタスクチーム「持続可能な開発イニシアチブへのタスクグループ(TGSDI)」を立ち上げ、YMCAがSDI基金から資金調達するための最善の方法を追求できる体制づくりに努めています。

世界同盟12月ニュースの抄訳・意識です。(浅羽)

## YMCAの小窓から

埼玉ワイズは浦和YMCAを応援します。

私たちの放課後等デイサービスでは、時折クッキングをします。この日はカレーを作りました。

鍋やガスを使わず、電子レンジでチンするだけの超簡単カレー。まずは玉ねぎを切ります。包丁を使うことが苦手でも、チョッパーを使えば安心です。その後、切った食材とルー等を一つの器に入れて、ラップをかけます。ルーは粉状で溶けやすいものを使います。電子レンジにかけると段々とスパイスの良い香りがしてきました。約8分間チンして出来たカレーとご飯をお皿に乗せ、サラダも添えます。

クッキングで学べることは実にたくさんあります。例えば、物事を順番そって処理することや栄養のこと、調理の前後は手を洗うなどの衛生、片付けは洗い物からテーブル拭きまできっちりとなす等、生活に必要なスキルがギュッと凝縮されています。

これらのことがクッキングを通して楽しく学べることを私たちはとても大切に考えています。

(浦和Yスタッフ 坂室由美子記)



1) 玉ねぎをチョッパーで。目がしめない。



2) 中央:うまくできるかな?



3) いただきます!

## 諸報告

### ◆ 埼玉 YMCA フェスティバル

11月28日(勤労感謝の日)、所沢YMCAで恒例の埼玉YMCAフェスティバルが久しぶりに開催された。コロナ禍で休んでいた分会館は親子連れ、会員・ワイズやリーダー、職員とごった返していた。



埼玉クラブからは浅羽メンが前半、衣笠メンが後半駆けつけたが、クラブとして参加できず残念だった。それでも浅羽メンは所沢クラブの澁谷会長と川越クラブの山本会長と写真に収まり、衣笠メンは木下スタッフにスキートレーニングマニュアルのための資金の贈呈に参加し、写真に収まってもらえた。

他方小谷総主事が急病なため同日に開催予定だった会員大会が中止になったのは残念だった。総主事は回復に向かっている。(浅羽 記)

### ◆ 12月「パレパー」例会

12月9日午後2時から浦和YMCAで開催される最後の12月定例会を開催した。メンバーの響感をもらうであろうことを承知で「パレパー」例会と銘打った。イスラエルのパレスチナ攻撃と自民党のパーティ券裏金問題がメディアを賑わせていたから。

例会は今までのジェンダー学習のおさらいと、今後の予定について話し合った。女性に参加を呼びかけており、今回は浅羽恵氏が協力してくれた。水無瀬メンはズームで参加し、山本俊明氏は今回も議論を整理してくれた。当日は浅羽恵さんの誕生日だったが不覚にもプレゼントの用意無し。(浅羽 記)



### ◆ 12月 夜談会

あいにく今月の夜談会はメンバーや常連が多忙につき日程を定められず、止む無く中止になった。



## 仲間からのお便り



### ◆ 塀和光二郎メン 今月の俳句(俳号 愚道)

#### ① 冬晴れや届かんばかりの青さかな

雲一つないこの晴れ間をどう表現したらよいのでしょうか。ありきたりの言葉では物足りない。届かんばかりという表現でなにかがたわったのか?

#### ② 真新し蒲団の軽さ一人部屋

洗濯せず使っていた古いふとんに替えて新しい蒲団を購入、その軽さに思わず「ふ〜ん」とため息がもれます。

#### ③ ゆっくりと剥いて食べようLみかん

普段はSサイズのみかんしか買えませんが、たまにいただくLサイズのみかんはゆっくりと一房一房味わって食べたくになります。

句会に毎月投稿しておりますが、私の句はほとんど点数がはいりません。それでも毎月俳句を作り続けるのは、人生の喜び、哀しみ、生活のちょっとした感情の動きを観察し17文字に表現することの楽しさに浸るためです。皆さまもよろしかったら作ってみてはいかがでしょうか?

私が好きな句は

裏を見せ表を見せて散る紅葉 良寛  
柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺 正岡子規

### ◆ 浅羽俊一郎メン

クリスマスの直前、23日は孫娘の誕生日。私たち夫婦も、息子のお嫁さんのご両親も皆そろってお祝いしようと張り切っていたら、孫娘が、ついで息子が、そして最後はお嫁さんまでがインフルエンザにかかってしまった。今は全員回復してほっとしています。皆さんも呉々も流感を甘く見ないで正月をお迎えください。

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
月例会 (12/09)	7	5	2
夜談会 (中止)			

編集後記： 本紙面の1ページ目にワイズメンズクラブの案内文と連絡先を挿入してみた。メンバーと相談したわけではないので、本誌を見て改めて是々非々協議してもらいたい。理由は簡単。このブリテンをもっともっと広報用に活用するには最小限の基礎的情報を毎号に掲載する必要があるだろうと思ったからだ。(編集子)